

議会報告会 町に対する意見・要望（回答）

（平成27年3月23日から3月27日開催）

1 炭化施設の廃止に関する報告書などを公開すべきではないか。

（回答）炭化処理施設の廃止に伴う経過報告及びごみ処理方針変更の内容につきましては、報告書の公開という方法ではありませんが、平成26年に実施の町民説明会やまちづくり懇談会等を通じ町民の皆様へご報告し、懇談会の質疑内容等につきましても町広報にてお知らせしておりますので、ご理解願います。

2 エゾシカ食肉加工所は、管理に係る経費が掛かっているが、現状のまま継続して良いのか。

（回答）エゾシカ食肉加工施設につきましては、平成25年4月より札幌市に本社を構える株式会社アルデバランと契約を締結し、管理運営業務を委託しております。

加工施設におけるエゾシカ処理実績は、平成25年度は45頭、平成26年度は23頭であります。

同社は、町内外の加工業者と提携し、エゾシカの肉を使った加工品の製造・販売をしております。

同社との契約は平成27年度で3年目を迎えておりますが、町内でのシカ肉の販売について検討をいただいているところであります。

今後につきましては、事業実績等を勘案しながら、委託内容の検討を進めてまいります。

3 きのか総研から出る菌床が山積みされており悪臭がする。また、春先には排水に汚水が流れ出ている。

（回答）北海道きのか生産総合研究所（きのか総研）鳩山生産工場における廃菌床に起因する悪臭や汚水については、かねてより近隣の住民や企業より苦情が寄せられており、都度きのか総研側に対策を要請してまいりました。

昨年、抜本的な解決策として、きのか総研側より廃菌床の堆肥化に当たり、別の箇所への移動について提案がありました。現地で廃菌床を堆肥用の資材として販売

が終了する本年夏までには、全ての廃菌床を移動する内容で確認をしております。

また、応急対策として廃菌床が雨水と接触し腐敗しないようシートを掛けるほか、臭いを抑える発酵菌を撒くなどの対処も行っているところであります。

以上の経過から、菌床が現地点から移動されれば当面、悪臭や汚水の問題については解決されると考えておりますが、移動先の箇所でも同様の問題が発生しないよう、きのこ総研側とも協議を進めてまいります。

4 資源物の電池・蛍光灯・ガラス類の回収は、年に数回でも自治会のごみステーションでも回収できないか。

(回答) 現在、電池・電球・蛍光管・ガラス類・陶器類等につきましては、町内の公共施設6カ所に回収ボックスを設置し、町民自らそれぞれの拠点回収場所へ持参していただき、回収しております。

ごみステーションにおける回収につきましては、ガラスや陶器等の破損や飛散防止のため、専用の回収ボックスが必要となり、町内に約550カ所あるごみステーションへの対応は困難であります。

拠点回収場所への持参は、確かに面倒な点が多々あるかと思いますが、現在の拠点回収にご協力くださいます様、よろしくお願いいたします。

5 農家戸数の減少により防犯灯の維持管理が困難となっており、防犯灯の撤去に対して補助対象とならないか。

(回答) 現在、街路灯設置等の補助に関する規則においては、設置・修理・LED化及び電気料に対する補助であり、撤去に対しては補助対象としておりません。

今後、各町内会・自治会の現状を確認させていただき検討してまいります。

6 日出地区での石炭の採掘再開による町道の傷みが心配である。

(回答) 日出地区の町道(角田鉾線)につきましては、路面状況を確認しながら、随時舗装の補修や不陸整備等を行い、地域住民の通行に配慮してまいります。

また、採掘業者にも徐行運転の徹底など、交通安全・騒音の両面から指導も行ってまいります。

7 前回の特別警報時は、お寺が避難所となったが、日出地区の避難場所の設定を明確に
していただきたい。

(回答) 昨年9月11日、深夜からの大雨により、数十年に一度の大災害が起こると予想
される場合に発表される「大雨特別警報」が発表されたことにより、町民の生命を
守るため避難勧告を発令し、17カ所の避難所を開設しました。

なお、日出地区の避難所は、南部公民館となっておりますが、上記特別警報（直
ちに命を守る行動をとらなければならない）が突然発表され、緊急対応としてお寺
にお願いし、臨時的に避難所を開設したものであります。

災害時は、現在、日出地区の避難所となっている南部公民館への避難をお願いし
ております。また、日出地区は高齢者の方も多く、車を持っていない方もおります
ので、避難する際は、地域の助け合いにより、避難をお願いいたします。

8 旧継立中学校を含めた南部地区の振興策はどうなっているのか。

(回答) 南部地区の振興策については、第6次総合計画において、旧継立中学校の利活用
のほか、道路網や住環境の整備検討などを予定しております。

この核となる旧継立中学校の利活用に関しては、他自治体における廃校活用の成
功事例も参考にしながら、今後、地域の皆さんの意向もお聞きした上で、本年度中
に方向性を決定したいと考えております。

9 日出地区の石炭の採掘により雨水などの汚水が流れることはないのか。

(回答) 日出地区の石炭採掘については、札幌市の企業であります札幌第一興産株が共同
鉱業権者である三興企業株とともに、平成27年度より採掘の準備を終えて開山の
運びとなっております。石炭の採掘場に係る排水については水路工とフィルター工
法を用いた沈殿バックを設置し、清水にして排水する施設となっており、汚水が下
流へと流出することの無いよう対策されています。

今後につきましても、継続して大雨等の際に汚水が流出しないよう要請してまい
ります。

10 炭化施設の事故等に関する情報提供が遅すぎる。今後、最終処分場の状況や外部処理の処理量、また、広域組合への加入に当たっての協議内容に関する情報を速やかに情報提供していただきたい。

(回答) 炭化施設の故障に伴い、今後のごみ処理方針を大きく変更せざるを得ない状況となり、町民の皆様には多大なるご迷惑をお掛けいたしました。この場をお借りし、心からお詫び申し上げます。

現在のごみ処理状況や広域組合への加入進捗状況につきましては、毎月の町広報にてお知らせしておりますが、今後も引き続き、速やかに情報提供を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

11 角田工業団地造成は良いことだが、地盤が悪いためしっかりとした造成をしてほしい。

(回答) 平成28年度からの造成工事に向け、平成27年度より現地の測量調査及び設計を実施いたします。

設計に当たりましては、造成予定地の地盤状況に十分配慮しながら実施してまいります。

12 農業後継者について、新規就農対策は充実しているが、親元就農に対する政策が少ないのではないか。

(回答) 町及び農業振興公社では近年、農外からの新規就農対策に力を注いでおります。

その取り組みの成果により、平成26年度から平成27年度にかけて7組の方が新たに就農されております。

また、農業後継者を含めた担い手対策にも取り組んでおり、意欲と能力の高い優れた担い手を育成するためのくりやま農業未来塾、若手女性農業者の学習や交流の場としてのくりやま農業女性塾、農業後継者へのプロジェクト活動支援、経営者に対する農業後継者育成支援、若手農業者の国内外研修など、様々な事業展開をしております。

13 町税等の滞納対策は、公平の観点から一層の努力をされたい。

(回答) 町では、町税等を滞納させないため、督促、催告、臨戸訪問などの業務を日々行っております。

平成25年度の町税の収納率は、前年度と比べ、0.37ポイント向上し、未収金は250万円ほど減少しております。

滞納者の中には、様々な個別事情がある方もいますが、納税相談を行い滞納額の減少に努めているところであります。

また、無反応や悪質と思われる滞納者に対しては、財産調査を行い、預金、給与、不動産の差押えを実施しているところであります。

何れにいたしましても、納税の公平の観点から、滞納者に対しては今後も引き続き根気強く納税折衝を行い、滞納額の縮減に向けて努力してまいります。

14 栗山赤十字病院は、建物が老朽化進んでいる。また、利用者が減少しているが、地域医療確保のため存続していただきたい。

(回答) ご指摘のように栗山赤十字病院の施設は築後35年が経過し、老朽化・狭隘化が激しく、将来的な方向付けをする必要はあると考えております。しかし、一方で、病院施設整備には莫大な費用がかかるため慎重に検討しなければなりません。

町といたしましては、第6次総合計画において平成28年度早々に『(仮称)栗山町の医療環境整備を検討する町民委員会』を設置することとしており、関係者及び町民参加により、本町の将来的医療環境のあり方について検討し、第6次総合計画の前期計画の期間中には、方向付けをしていきたいと考えております。

なお、地域医療確保につきましては、既存の制度や医療資源の最大限かつ効果的な活用を図り、町民に必要な医療の確保及び病院の安定的な運営を図る体制づくりについて、引き続き推進してまいります。

15 少子高齢化社会において、高齢者・子育て支援対策の充実を図っていただきたい。

(回答) 本町では今年度からスタートした第6次総合計画及び第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、高齢者の介護予防事業の推進のほか、医療や介護が必要になっても高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送ることが

できるよう、地域包括ケアシステムの構築、さらには、社会福祉協議会等と連携した、まちなかカフェ事業の全町展開など高齢者等の居場所づくりの推進や、家族・地域そして民生委員児童委員など関係機関や団体等が連携して地域全体で支える体制づくりの構築を図ってまいります。

また、子育て支援対策としては、「第1期栗山町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実を図ってまいります。

特に、今年度は子育て支援センターを現在の児童センター（2階）から移転し、8月より単独施設として運営の開始を予定しております。

その他、平成27年度より新たに「子育て応援券事業」の実施、子どもの医療費助成を18歳まで引き上げるなど、子育て世代の経済負担の軽減も図ってまいります。

16 町営バスの利便性の向上のため、パークゴルフ場へのアクセスや始発時間を早めていただきたい。

(回答) 栗山ダムパークゴルフ場へは、町営バスの「鳩山循環線」がアクセスしております。

また、鳩山循環線の朝1便は栗山駅を午前8時55分に出発しておりますが、その前の時間帯に運行しておりますスクールバス及び他の利用者の支障としない範囲で検討してまいります。

17 道路工事と老朽化水道管更新工事を一体的に行うとともに、工事日程を町民に周知していただきたい。

(回答) ご意見のとおり、道路改良工事と老朽管更新工事を一体的に実施することが効果的・効率的ではありますが、各事業計画及び道路状況等を十分考慮したうえで、実施について検討してまいります。

工事日程の周知につきましては、地先関係者だけでなく、各町内会を通して町民皆さんに周知してまいります。

18 ポンウエンベツ川の河川改修に関する要望をしているが、できるだけ早期に実現していただきたい。

(回答) 現在、道事業によりポンウエンベツ川下流の雨煙別川改修事業が進められておりますが、ポンウエンベツ川合流点まで進んでいないのが現状であります。
改修事業の早期実現に向け、引き続き関係機関に要望してまいります。

19 介護福祉学校周辺の立木の影により、水田の生育に影響があるため対応していただきたい。

(回答) 平成27年6月、水田の生育に影響のある立木を伐採いたします。

20 栗山墓園入口道路が狭いため、拡幅していただきたい。

(回答) 現在、墓園入口の拡幅について、関係地権者との協議を進めているところであります。
地権者の了解が得られましたら、各関係機関との協議を進めてまいります。

21 栗山中学校からパークゴルフ場へ向かう町道では、ごみのポイ捨てが多いことからパークゴルフ場にごみ箱を設置してはどうか。

(回答) ごみの処理につきましては、利用者個人の責任において適切に処理していただけるようご協力をお願いしているところであります。
今回の対応といたしましては、パークゴルフ場の掲示板等を利用してのモラル向上の呼び掛けを行い、対応いたします。

22 ふるさと納税の返礼品について、品目を増やすなど充実していただきたい。

(回答) ふるさと納税は、自分が住んでいる市町村以外の市町村に対しふるさと納税(寄附)をすると、当該納税(寄附)額のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで原則として所得税・個人住民税から全額が控除される仕組みの制度で、そのお礼として、栗山町の特産品をお届けしております。
現在、特産品はA・B・C・Dの4コースでセット物も含め44種類の品目を設定しておりますが、今後も本町のまちづくりに支援を頂けるよう、製品の品目を増やす等の充実策について、関係者と協議を進めてまいります。

23 本町の水道料金は全道平均を上回っているが、その根拠と対策はどうするのか。

(回答) 本町の水道料金が全道平均を上回っているのは、水道水の安定供給を目的に整備した栗山ダムの建設費負担金や、広範な水道管の布設・更新費などが要因となっております。

今後におきましては、計画的な資産管理などの経営改善策を講じながら、水道水の安定供給と効率的な企業経営に努めてまいります。

24 角田農村環境改善センター駐車場の整備を実施するが、併せて、町有地（角田162番地2）を簡易的に整備してはどうか。また、その町有地の草刈をしていただきたい。

(回答) ご意見のありました町有地（角田162番地2）につきましては、現在のところ整備予定はありません。

なお、草刈りにつきましては、現在も年2回実施しており、引き続き、地域の環境面に配慮してまいります。